

## 第4回 中井やまゆり園元利用者の死亡事案に係る検証チーム議事録

日時：令和7年3月17日（月）17時00分から19時00分まで

場所：小田原合同庁舎 2F 会議室

参加者：学識経験者（第三者） 國學院大學 佐藤 彰一名誉教授（座長）  
支給決定自治体 小田原市福祉健康部障がい福祉課  
相談支援事業所 社会福祉法人永耕会 相談支援センターういず  
短期入所事業所 （事業所名非公開）  
県 福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課  
中井やまゆり園

### 結果概要

#### 最終報告に向けた論点整理

- ・ 両親の揺れ動く気持ちに寄り添うことが出来ず、上手く支援につなげられなかった。本当の気持ちを理解できれば良かった。
- ・ 両親は支援を求めたが断られてきたことが語られていた。
- ・ 虐待としてのスキームに則っての支援をした経過もあるが、それが続くわけではなく、終了すると支援が途切れてしまった。
- ・ 入所施設、県立施設の機能というところを、これを機に本来持つべき姿、求められている姿を考える必要がある。
- ・ 施設に預ければ良いという議論ではなく、しっかりと家庭に支援を入れるためには、本人や両親の意向を十分に議論する必要がある。
- ・ 本人を中心に、家族とともに関係機関が集まり支援について議論する場が定期的に必要である。
- ・ 短期入所の有効活用が必要であり、数日単位ではなく、支援体制が整うまでの利用を検討する必要がある。
- ・ 緊急時に必ず受け止められる仕組みや事業所が必要だと考えられる。